



カイゼン★ニュース

2019.11 編集/発行 都市戦略本部 行財政改革推進部

No. 3

「第10回カイゼンさいたまマッチ」を開催しました

11月1日（金）に「第10回カイゼンさいたまマッチ」を開催しました。当日は、企業・他自治体を含め219名の方にご来場いただき、盛況のうちに終えることができました。

今回のカイゼンニュースでは、発表事例の内容や当日の様様について掲載します。汎用性の高いカイゼンばかりですので、みなさんの職場でも「マネ改善」として、ぜひ取り入れてみてください。



最優秀賞 南区役所 支援課

テーマ：「やりかけBOX」で係全体の業務の見える化

昨年度最優秀賞を受賞した「シェアボックス」（仕事がたまっている職員が他の職員に仕事をお願いしやすくするカイゼン）をさらに発展させた「やりかけBOX」によるカイゼンです。

「書類待ちフォルダ（不足書類ありで保留中）」「やればできるフォルダ（処理可能だが手をつけていない）」等のフォルダをまとめて自席に置いておくことで、係の統一ルールのもと書類を管理し、業務の見える化や担当者不在時の対応を可能にしました。

当日の発表では、悩みを解決してくれる「ひまわり姫」も登場し、会場を盛り上げていただきました。



市長特別賞 桜区役所 保険年金課 ※発表方法に工夫をこらし記念すべき第10回を盛り上げた課へ授与

テーマ：もらって安心♪渡して安全♪この1枚！

窓口の説明用に、市民目線で知りたい内容をわかりやすく箇条書きにしたチラシを作成するカイゼンです。

これまでは、ページ数・内容の多い「国民健康保険のしおり」を使用し口頭で説明していたものを、A5 サイズ1枚のチラシを作成・使用することで、説明時間の短縮や職員の経験値に左右されない説明ができ、市民の方もわかりやすく帰宅後に再確認することができるようになりました。

当日の発表では、桜区長・健康福祉部長・保険年金課長が市民・職員役となり、テンポのよいスライドとともにわかりやすい発表をしていただきました。





ナイスカイゼン賞 消防局 見沼消防署 消防1課 ※事前投票の最多得票課へ授与

テーマ：法令・内規の遵守、安全運転意識の醸成、
複雑細分化区分の誤認識防止

様々な消防車両に乗り災害出場している消防署において、
運転可能な車両を一目でわかるようにしたカイゼンです。

消防車両の運用には、大型・中型等の運転免許証だけでなく、
災害現場で車両に積載された道具を管理・運用する「機
関員」の指定を受ける必要があります。車両の種類ごとに〇×
で明示した「機関員等確認証」を各自が持ち、車両のシール
と突合する仕組みをつくることで、勘違い運用を未然に防ぐ
ことができるようになりました。

当日は、劇の中でサクソ・バイオリン・ピアノの演奏も
行われ、おもしろくてカッコいい発表をしていただきました。



優秀賞

北区役所 区民課

テーマ：呼出機呼出順の効率化

戸籍の届出・住民異動・マイナンバー等複数の窓口を設置
している区民課において、既存の呼び出し機のカテゴリー設
定（発券番号の業務別のまとめ方）を変更するカイゼンです。

費用ゼロ・作業時間5分というちょっとした気づきから生
まれたカイゼンですが、待ち時間の短縮と発券順に受付して
ほしい市民の要求に応えるという多くの効果を生み出すこと
ができました。



建設局 南部建設事務所 道路建設課

テーマ：図面の電子データ化

事業中の都市計画道路の図面を提供する業務において、紙
から電子データに提供方法を変更するカイゼンです。

大きな図面から場所を特定した上で、コピーにゴム印を押
して提供する従前の方法から、あらかじめスキャナで図面を
取り込み、必要事項を記載しておくという方法に変更するこ
とで、時間の短縮と事務処理ミスの防止に寄与することがで
きました。



環境局 西部環境センター

テーマ：ごみ受付用紙記入時に使用するクリップボードの改良

ごみ持ち込み車両が増え渋滞が発生していた状況を解決するため、クリップボードを工夫したカイゼンです。

受付時に使用するクリップボードに、持ち込みゴミの処理手数料や地域の収集所の利用案内、持ち込み予約制の案内等を記載することで、受付のスピード化による円滑な対応が可能になりました。また、イラストを使用することで、高齢者や障害のある方にもわかりやすいデザインとなっています。



サポーター職員



カイゼンさいたまッチは、サポーター職員が企画・運営を行う発表会です。

第10回では、5名のサポーター職員の方に、バナー・パンフレットの作成や当日の司会・舞台設営・撮影等に携わっていただきました。

当日は、又々のピブス・帽子を身に着け、一丸となって楽しい発表会を作り上げることができました。

審査委員

4名の審査委員の方に、発表事例の審査・講評を行っていただきました。

- ・キヤノン電子株式会社
代表取締役社長 酒巻 久 様
- ・日本電鍍工業株式会社
代表取締役 伊藤 麻美 様
- ・さいたま商工会議所
女性会会長 浜野 洋子 様
- ・さいたま市長

全国大会

令和2年2月21日（金）に兵庫県丹波篠山市において、全国の自治体が集合して様々な改善事例を発表する「第14回全国都市改善改革実践事例発表会」が開催されます。

本市からは、最優秀賞を受賞した南区役所支援課が出場し、発表を行う予定です。



昨年度の模様